

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 3 日

事務事業名		シニアスクール事業					事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	020201000609	
		単独/補助					単独		所属課	090601 生涯学習課	
政策体系	総合計画の施策名	0202	生涯学習・芸術文化活動の推進					課長名			
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					グループ	生涯学習G		
	施策名	02	生涯学習・芸術文化活動の推進					担当者名			
	手段名	01	①自主的な活動の支援と学習機会の提供								
		財務会計上の位置付け					事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	10	05	06	01	00	生涯学習推進事業				
法令根拠	社会教育法						単年度繰返し ( 昭和40 年度~ )				
							☞ 期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要										
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	市内の在住の65歳以上を対象とし、会場(シトラス・真壁伝承館)ごとに年5回程度の学習会を開催する。高齢者に生き甲斐を持った豊かな生活を送ってもらう一助とするのが目的である。					○事務及び各種学習会に係る運営補助(文書は社会教育指導員等が作成)				
	【令和6年度実施】					3月1日:学級生募集(広報紙掲載)・15日:区長文書回覧				
	第1回 開級式・脳トレ教室(5/22・23)					4月:募集受付				
	第2回 スマホ教室(6/26・27)					5月:開級式・学習会(課長・担当・社会教育指導員)				
	第3回 ポッチャ競技教室(7/24・25)					学習会(5~12月)				
第4回 陶芸教室(※移動教室)(9/12)					12月:閉級式・学習会(課長・担当・社会教育指導員)					
第5回 脳トレ教室(11/20・21)					・案内通知および講師依頼文書(起案は担当にて対応)					
第6回 閉級式・リースづくり教室(12/11・12)					・バス予約(担当)					
					・学習会準備補助(担当)					
					・移動教室の際のバス借り上げに関する契約事務(担当)					
					・移動教室への随行(担当)					
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
事務手続き及び各種学習会に係る運営		学習会等開催回数			回	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
市内在住の65歳以上		市内高齢者(65歳以上)			人	13,608.00	13,631.00	13,650.00	13,675.00	13,700.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)
学習を通して、豊かな心と生きがいつくりの場を創出する		学習会等延べ参加人数			人	218.00	376.00	380.00	390.00	400.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(3) 投入量(事業費)の推移					05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
			県支出金	千円	0	0	0			
			地方債	千円	0	0	0			
			使用料・手数料	千円	0	0	0			
			その他	千円	0	0	0			
			一般財源	千円	243	240	72			
			事業費計(A)	千円	243	240	72			
正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人						
06年度事業費 実績(千円)					07年度事業費 予算(千円)					
事業費の内訳	07 報償費	65			07 報償費	24				
	11 役務費	2			10 需用費	48				
	13 使用料及び賃借料	173								
	合計		240		合計	72				
(4) 当該年度の実施内容					07年度の事業内容		08年度の事業内容		09年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する					○広報紙での募集 ○開級式及び学習会(5~6回)、閉級式の開催 ○次年度の計画作成		○広報紙での募集 ○開級式及び学習会(5~6回)、閉級式の開催 ○次年度の計画作成		○広報紙での募集 ○開級式及び学習会(5~6回)、閉級式の開催 ○次年度の計画作成	

事務事業名	シニアスクール事業	事務事業No.	20201000609	所属課	生涯学習課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 高齢者が生きがいを持って豊かな生活をするために、昭和40年ごろに始まったと思われる。学級開始当時の対象者は60歳以上であったが、現在は65歳以上を対象としている。 今までは旧真壁町地区の市民を対象に募集をかけていたが、令和3年度より参加対象を岩瀬・大和地区の市民にも拡大したことに伴い、生涯学習的要素を取り入れている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 学級生（対象者）には、陶芸や移動教室が大変好評である。 しかし、社会福祉協議会においても高齢者を対象とした事業（高齢者クラブ）を開催しており、対象者の中には異なる二つの事業を混同してしまっている方も見受けられる。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の生涯学習・芸術文化活動の充実に関わりつつある。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 高齢者が生きがいを持って生活することにより、豊かな人生を送れる。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 広報紙で募集をかけて、参加対象者を市内全域の高齢者としたことで、多くの市民に当事業を周知することができ、参加者も年々増えてきている。参加者にはアンケート調査を行い、内容のさらなる充実を図っている。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者が生きがいを感じて生活するための学習の機会がなくなってしまう。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 社会福祉協議会の事業に高齢者の健康づくりを目的とした事業があるものの、本事業では新たな知識や技術を学んで生活を豊かにすることを目的としているため、統合は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 移動学習等では参加者から材料費を徴収している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 募集対象が65歳以上の市民となっており、広報紙で周知し募集している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） シニアスクールは好評であり、参加者も年々増えてきている。参加者にはアンケート調査を行い、内容のさらなる充実を図っている。																		
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下			コスト															
		削減	維持	増加															
			○	×															
		×	×	×															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																			
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
---	--